



なつやすみのしおり

なかみなとだいいちしょう だい1がくねん

【れいわ5ねん7がつ2 1にち(きん)～ れいわ5ねん8がつ3 1にち(もく)】

2 1にちからは、ながいなつやすみがはじまります。

きまりややくそくをまもり、こうつうあんぜんにきをつけて、たのしいなつやすみにしましょう。

また、めあてをきめて、なつやすみにしかできないことにちょうせんしてみましょう。

1 せいかつ

- ①きそくただしいせいかつをする。
- ②まいにちべんきょうやおてつだいをする。
- ③あいさつやことばづかいをきちんとする。
- ④あそびにいくときは、いえのひとにはなしてからいく。



・ どこへ	・ だれと	・ なにをしに	・ かえりはなんじ
-------	-------	---------	-----------

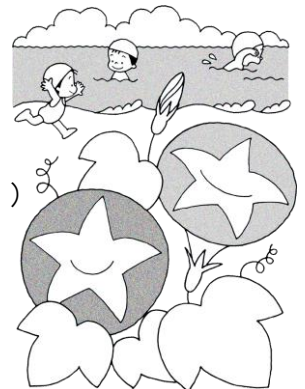
- ⑤ 5じまでには いえへかえる。

おまつりなどは、かならずおとなのひとといっしょに行く。

- ⑥ おかねのむだづかいをしない。(ひとにあげない。もらわない。)

2 けんこう・あんぜんのめあて

- ①はやね・はやおきをする。
- ②むしばなど、わるいところがあったらなおしておく。
- ③すききらいがへるように、いろいろなものを食べる。
- ④たべすぎ・のみすぎにちゅういする。(あيس・じゅうすなど。)
- ⑤はみがき・てあらい・うがいをきちんとする。
- ⑥こうつうじこにちゅういする。



とびだしをしない。どうろにでるときは**かならずとまる**。

じてんしゃは こうえんやひろばでのる。

かならずへるめつとをかぶろう。

⑦どうろやきけんなどころでは、ぜったいにあそばない。

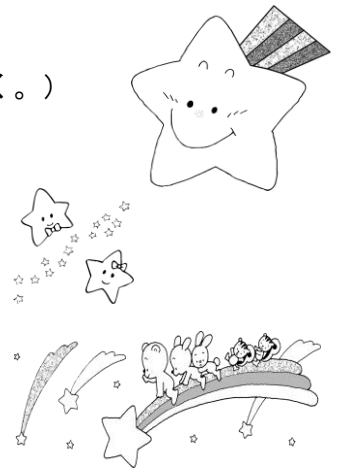
(うみ・かわ・ぬまなどには、おとなのひとといっしょに行く。)

⑧あぶないあそびはしない。(ひあそび・えあがんなど。)

⑨できるだけひとりあるきはしない。

⑩『いかのおすし』をわすれない。

⑪そとからかえってきたら、てあらい・うがいをしましょう。



4 しゅくだい

【かならずやるもの】

①なつやすみのかんせい、ちゃれんじひらがな・けいさん、たしかめてすと2まい

→ おうちのひとにまるをつけてもらいましょう。

②どりるぱーく (たぶれっと) → くさんすう〉ペーしゅくどりる1~7

ぱわーあつぷどりる1、2

〈こくご〉 ペーしゅくどりる1~6

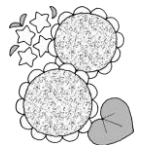
③なつのいちぎょうにつき・なつやすみのえにつき

④さくひんぼしゅうのかみを いえのひとといっしょに よくよんできめましょう。

・ さくぶん、しゅうじ、ひょうご、どくしょかんそうぶんから1てんいじょう

⑤あさがおのせわとかんさつかあど (2まい)

⑥につき3にちぶん (おうちのかたに、こめんとをかいてもらいましょう)



⑦おんどく → おんどくかあどにかこう。(よんだもののなまえをかきましょう。)

⑧どくしょ → もくひょう 20さつじょう

【できたらチャレンジするもの】

- ・じしゅがくしゅう → できるだけがんばりましょう。
- ・1がっきのふくしゅう→ こくご・・・ひらがなのれんしゅう、ししゃなど。
さんすう・・・けいさんどりる、けいさんかあど。
- ・とうけいぐらふ、りかじゅうけんきゅう → ※がっこうにもってくる。
- ・ずこうのさくひん→ おうちのひとといっしょにおうぼしてみましよう。

※がっこうではあつめません。

5 なつやすみあけとうこうび 9がつ1にち(きん)

①8じ15ふんまでにとうこう。



②もってくるもの(□に ちえつくしながら よういしてみよう。)

□うわばき(おおきさをかくにんする。) □れんらくちょう □ふでばこ

□こうはくぼうし □ぞうきん2まい □なつやすみのかんせい □いちぎょうにつき

□ちやれんじひらがな・けいさん □なつやすみのさくひん(さくぶん、ひょうごなど)

□あさがおのかんさつかあど2まい □につきちょう



□がくしゅうかあど(おんどくとどくしよ) □じしゅがくしゅう(やったひと)

□はんかち □ていっしゅ □たぶれっと(5か までに もってくる)

***さくひんのしめきりは9 / 1 (きん) です。わすれずにもってきましょう。**

(とうけいぐらふは、8 / 23です。)

③11じ35ふんごろ げこう。(しゅうだんげこう)

○じこや びょうきにゆういん そのた きんきゅうのばあいには かならずれんらくをしましよう。

なかみなとだいいちしょうがっこう 262-2450

(8 / 14、15、16は、へいちょうびです) 市役所 代表273-0111

